市会議案第6号

物価高騰に見合う老齢基礎年金等の支給額の引上げを
求める意見書

上記の議案を提出する。

令和6年6月28日提出

吹田市議会議員 玉井美樹子

同 柿原 真生

同 益田 洋平

同 村口久美子

同 竹村 博之

同 塩見みゆき

物価高騰に見合う老齢基礎年金等の支給額の引上げを
求める意見書（案）

公的年金は高齢者の生活の基盤となっており、我が国の経済を支える大きな役割を果たしている。

しかしながら、2019年（令和元年）10月の消費税増税に始まり、医療費・介護保険料の負担増、さらには急激な物価高騰により、今や高齢者世帯の約半数が生活が苦しいと感じているとの統計もあり、近年の同世帯の実質的な消費支出は増税前と比較すると明らかに減少している。

そのような中、国は今年4月から公的年金の支給額を2.7%引き上げたが、2023年（令和5年）の物価上昇率は3.2%となっており、公的年金の引上げ率が物価上昇率よりも低く抑えられていることから、実質的には目減りとなっている。そのため、今後は同世帯の生活がますます困難となり、消費活動が更に縮小して、地域経済にマイナスの影響を与え、地方自治体の税収減につながるものが危惧される。

こうしたことから、社会情勢等を踏まえた適切な公的年金制度とするよう早急に見直さなければ、高齢者を始めとする年金受給者の命と暮らし、また健全な地方財政を守ることはできない。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、物価高騰に見合う老齢基礎年金等の支給額の引上げを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年6月 日

吹 田 市 議 会